



年末年始のゴミを少なくしよう！

■問い合わせ：環境対策課廃棄物対策グループ ☎内線 426



もったいない！

まだ食べられるものが捨てられています

宴会や腕を振るう料理が多いこの季節。今回はそんな季節に多い「食品ロス」についてお話しします。

★「食品ロス」とは？

日本国内では、年間約2800万tの食品廃棄物が発生しています。このうち、売れ残りや期限を超えた食品・食べ残しなど、本来食べられたはずのいわゆる「食品ロス」は、約621万t（平成26年度）とされています。これは世界全体の食料援助量・年間約320万tの約2倍に匹敵します。また、食品ロス約621万tから日本人1人当たりの食品ロス量を試算すると、お茶碗1杯分（約133g）の食べ物が毎日捨てられている計算になります。

【出典：農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（平成26年度推計）」／国際連合世界食糧計画「数字で見る国連WFP」】

★食品ロスの約半分は

一般家庭から発生

約621万tの食品ロスのうち、約半数・約282万tは一般家庭から発生しています。過剰除去（野菜の皮の厚剥きなど）や出された食事の食べ残し、消費期限切れや賞味期

限切れによる廃棄によって、食品ロスは発生しています。

★日常生活の中でできる

食品ロス削減の取り組み

①家庭でできる取り組み例

- 料理は食べきれぬ分だけを考えて作るようにしましょう
- 料理は必要以上に作りすぎないようにしましょう
- 食べきれなかった料理は保存してなるべく早めに食べましょう

②外食の際にできる取り組み例

- メニューを見て食べられる自信が無い時には、お店の人に少なめにできるか相談しましょう
- セットメニューの中に食べられないものがあれば、注文の時に伝えてあらかじめ料理から除いてもらうことができるか相談しましょう

- 宴会開始後の30分間・お開き前の10分間は、席を立たずに料理を楽しむ時間にするよう、宴会の幹事が呼びかけるようにしましょう

年末の大掃除に！

粗大ごみの処分方法について

年末にお問い合わせが多い、大型のソファ・ベッド・テーブルなどの処分方法について紹介します。不要になった粗大ごみは以下の方法を参考に、適正な処分をお願いします。

●粗大ごみの基準：最も長い部分が1m以上、または重さが20kg以上のもの



処分方法その① 市に収集を依頼する場合

市環境対策課に電話予約する

収集する物1点につき1枚、「粗大ごみ処理券」を購入（1枚1,540円／市役所、市民窓口ステーション、東部・西部出張所、市内の一部スーパーなどで販売）

収集日の午前8時30分までに、「粗大ごみ処理券」を貼って所定の場所（予約時に確認）に出す

処分方法その② ごみ処理施設「クリーンプラザ・龍」に持ち込む場合

▶受付時間：月～土曜日午前8時30分～正午・午後1時～4時（祝日、年末年始などを除く／事前予約不要）

▶手数料：10kgにつき150円
事業系ごみは10kgにつき237円

▶注意事項

- 自動車部品・建築廃材など搬入できない物もあります。クリーンプラザ・龍 ☎60-1777へ事前にご確認ください
- 廃家電【テレビ・エアコン・冷蔵（凍）庫・洗濯機・衣類乾燥機】は別途環境対策課へお問い合わせください